



脊椎外科で増える内視鏡手術 痛みが少なく回復が早いのが特徴

医療法人社団 誠療会
成尾整形外科病院

理事長 成尾 政園
院長 成尾 政一郎

【診療科目】
◎整形外科 ◎リハビリテーション科
◎リウマチ科 ◎麻酔科(野上俊光) ◎漢方内科
【診療日】
月曜日～土曜日
※土曜日は午前だけの診療です。
【診療時間】
平日 / 9:00～17:30、土曜 / 9:00～12:30
※外来受診は予約制となります
※事前にお電話でのご予約をお願いいたします。
【休診日】
日曜日、祝日、土曜日午後、年末年始



〒862-0958 熊本市中央区岡田町12-24(白山通り)
TEL 096-371-1188(代表)
<http://naruoseikei.com/>

成尾整形外科 検索

腰椎椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症など、神経を圧迫する病気で行われる脊椎外科手術において、最近では内視鏡手術が増えているそうです。手術の特徴や注意点について詳しく聞きました。



成尾整形外科病院 医師
村上 直也氏
PROFILE
1996年大分医科大学を卒業後、熊本大学整形外科教室に入局。熊本中央病院、公立玉名中央病院勤務を経て、2014年から現職。日本整形外科学会認定整形外科専門医。

**手術時間は1〜2時間
翌日には歩行も可能**

—脊椎外科手術の方法が、近年大きく変わりつつあるそうですね。

村上 脊椎は体を支えると同時に神経の通り道としての役割があります。脊椎の中を通る神経が、年齢的な脊椎の変形やヘルニアなどにより圧迫されることで、手足の痛みやしびれが起きます。その神経の圧迫を和らげることが脊椎外科手術の主な目的で、最近では体への負担が少ない低侵襲手術が行われることが多くなってきました。中でも内視鏡手術は1997年に日本に導入され、手術機器の発達とともに近年急速に手術件数が増えています。もともとは腰部椎間板ヘルニアに対しての手術方法(MED法)ですが、最近では腰部脊柱管狭窄症、腰椎変性すべり症、頸椎の病変などにも内視鏡手術ができるようになってきています。

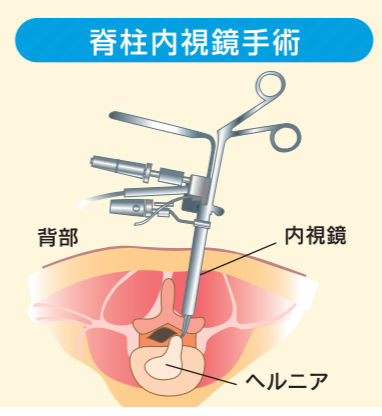
—脊椎内視鏡手術について詳しく教えてください。

村上 背部を小切開し、内視鏡(カメラ)付きの外筒管(直径約1.6cm)を

**体の負担が少なく
適応が広がる内視鏡手術**

—内視鏡手術が適応できないケースもありますか？

村上 再手術の場合や、腰椎の変形が強い方の場合には適応できないこともあります。また、脊髄の多くは脊髄管内にあり、最近では脊髄外科手術の約7割を内視鏡手術で行っています。脊髄内視鏡手術は、まだ一部の病院でしか行われていないのですが、将来的には脊椎外科手術において



脊柱内視鏡手術
挿入。モニター画像を確認しながら、神経を圧迫している部分の骨を削ったり、ヘルニアを切除したりします。従来の手術では4〜5cmの切開が必要ですが、内視鏡手術の場合は切開部分が約2cmと小さくて済みます。出血や筋肉に対するダメージも少なく、術後の痛みも少ないとされています。

—手術時間や入院期間はどのくらいですか？

村上 手術時間は、1カ所につき約1時間。2カ所の場合も1つの切開部分で手術が可能です。ほとんどの方が術後翌日には歩くことが可能です。入院については、早い方は1週間、遅くても2週間程度で退院できます。

スタンダードな手術法になるのではないかと考えています。

—手術以外の方法はありますか？

村上 腰部椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症と診断された場合、まずは薬やブロック注射などの治療を行います。それでも症状の改善がない場合、患者さんが手術を希望される場合に手術を行います。患者さんの症状に合った治療を行うことが大切ですので、自覚症状が現れたら我慢をせずに早めに整形外科を受診されることをおすすめします。